



ゆいぴー



つづき あい計画

参画機関

福祉と保健の相談窓口！



都筑区役所
高齢・障害支援課
福祉保健課

障害福祉のよろず相談所

都筑区基幹相談支援センター

精神障害の方やご家族、
地域の為の相談機関

都筑区生活支援センター
こころ野

あなたと街の
かけはしになります



都筑区社会福祉協議会

障害児・者の地域拠点！

つづき地域活動ホーム
くさぶえ



住み慣れた地域で
安心して暮らすために！
つづき障害者後見的支援センター
リリース・ネット

身近な福祉・保健地域拠点！

区内地域ケアプラザ

加賀原・葛が谷・新栄
中川・東山田

目的

つづきまるっとプロジェクトは、わたしたちのまちをつな
げて**元気**にしていく**地域づくりプロジェクト**です。



つづき あい計画



なぜプロジェクトが立ち上がったのか、これからご説明します。

障害のある方・ご家族の声
障害福祉関係施設の声

地域とつながりが
少ない...

地域ともっと
つながりたい

声と声をよみ聞くと...

地域の方の声

障害のことを
知る機会が少ない

地域の施設のことを
よく知らない



どちらの声も…

誰もが住みやすい地域に住みたい！

地域みんなともっとつながりたい！！

よし！
その声を
つなげよう！



支援者たち

まるっと
つながろう！



つづき あい計画

…と、
つづきまるっとプロジェクト
が **誕生** しました！

今年度の取組み



① 障害理解・啓発講座

② 地域防災拠点アンケート

③ まるっとページ準備



その①

障害講座を実施

障害理解を深める地域住民向けの講座を実施しました。





今年度のチラシ

わたしも知りたい!

「誰もが私らしく暮らせるまち」とは?

こころのバリアフリーとは言うけれど、私に何ができるのかしら?

地域のために活動している方、活動したいと思っている方。

まずは障がいのある方のお話を通して一緒に考えてみませんか?

場 所: 加賀原地域ケアプラザ 2階 多目的ホール
対 象: どなたでも **参加費:** 無料
定 員: 各回先着30名(8月1日(木)より受付開始)



1 回 目	9月14日(土) 13:30~15:30	テーマ: 知的障がいについて ①当事者の思い「僕の思いを聴いてください」 講師: つづき地域活動ホームくさぶえ 仲村 俊哉氏 今平 佳奈子氏 都筑区基幹相談支援センター 齋藤 陽介氏
2 回 目	9月28日(土) 13:30~15:30	テーマ: 精神障がいについて ①身近な心の病について ②当事者の声「心のお話を聴いてみよう」 講師: 横浜市総合保健医療センター 飯塚 英里氏 生活支援センター利用者
3 回 目	1月25日 (土)	テーマ: 助け合うということ ~みんなが暮らしやすい地域~ ①見守り支援について ②暮らしやすい地域って? ~みんなで考えてみよう~ 講師: つづき障害者後見の支援センター リリーフ・ネット 田島 泰子氏

1回だけの参加も大歓迎です!!



お申し込み・お問い合わせ
加賀原地域ケアプラザ
電話045-944-4640
FAX045-944-4642

主催: 横浜市加賀原地域ケアプラザ
つづきまるとプロジェクト <http://tuzuki-jishikyo.org/> (都筑区自立支援協議会)
企画機関: 都筑区役所 高齢・障害支援課/福祉保健課、都筑区基幹相談支援センターくさぶえ、
都筑区社会福祉協議会、都筑区生活支援センター ころ野、つづき地域活動ホームくさぶえ、
つづき障害者後見の支援センター リリーフ・ネット、区内地域ケアプラザ

台風19号のため、開催日程を変更しました。



知的障がい・精神障がいの ある人のくらし

【知的障がいについて】

【精神障がいについて】

◆10月13日(日)から変更

11月10日(日)
15:30~17:00

・都筑区基幹相談支援センター
相談支援員 齋藤 陽介氏から

自閉体験などを交えてお話しします

◆10月20日(日) (予定通りです)
15:00~16:30

・横浜市総合保健医療センター 精神保健
福祉士 飯塚 英里氏から精神疾患のお話
をします
・都筑区生活支援センターの利用者さんから
当事者の声でお伝えします

場所: 葛が谷地域ケアプラザ 多目的ホール

定員: 各回30名
参加費無料

障害がある人と道ですれ違いうけど、関わることってないなあ。地域に住んでいることも知っているけど、どんなくらしをしているのだろうか?
「知的障がい」・「精神障がい」について、仕事について、支援施設について、お伝えします

電話または FAX でお申し込みください。

1回だけの参加も大歓迎です!!

【お申込み・お問い合わせ】

都筑区役所 高齢・障害支援課

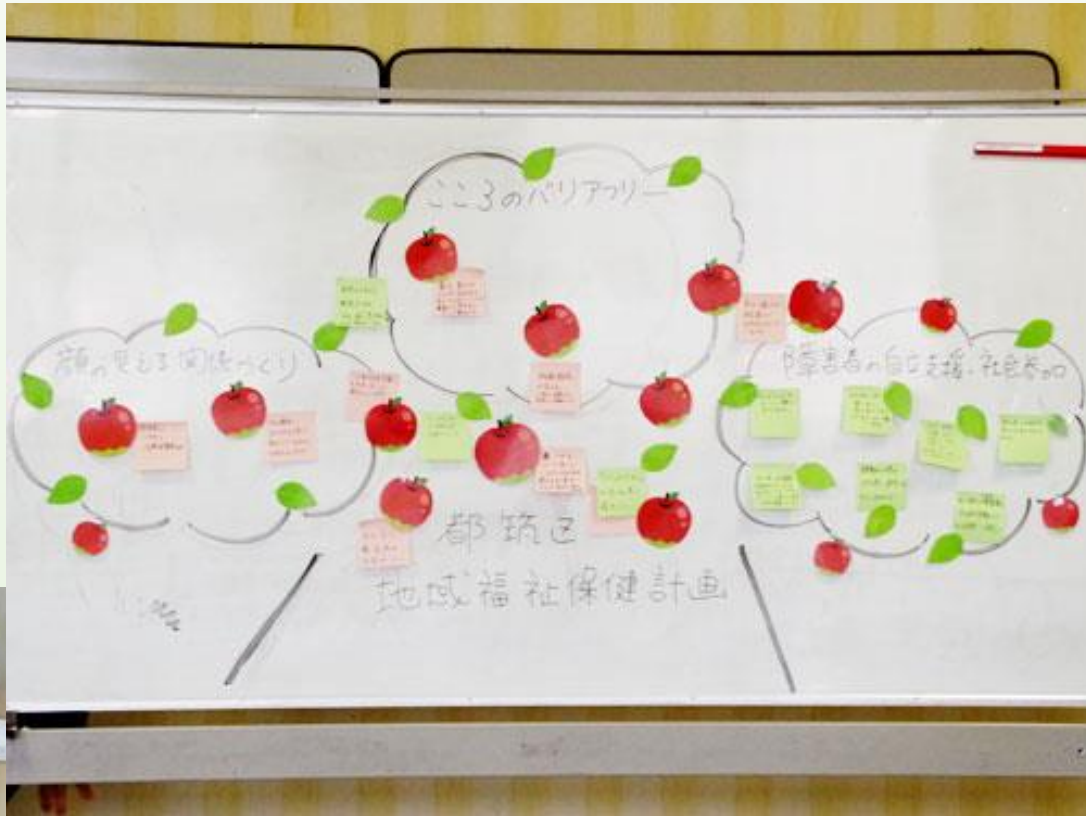
電話 948-2348

FAX 948-2490



企画: つづきまるとプロジェクト <http://tuzuki-jishikyo.org/> (都筑区自立支援協議会)
企画機関: 都筑区役所 高齢・障害支援課/こども家庭支援課/福祉保健課、都筑区基幹相談支援センターくさぶえ、
都筑区社会福祉協議会、都筑区生活支援センター ころ野、つづき地域活動ホームくさぶえ、つづき障害者後見の支援センター リリーフ・ネット、区内地域ケアプラザ

加賀原地域ケアフラワ講座の様子



その②

地域防災拠点との取り組み

①防災訓練後アンケート

全地域防災拠点とグループホームに対して
障害者の受け入れアンケートを行いました。

『防災訓練に参加しよう！』が意識づけられました。

②普及啓発

2カ所の地域防災拠点会議にて障害の説明を行いました。

普及啓発のために資料作成しました！

【 精神障害とは 】

- ・精神障害とは、統合失調症、うつ病などの精神疾患により、日常生活や社会生活において「生きづらさ」が生じるものです。
- ・精神疾患はたくさん種類があり、認知症や脳の損傷による症状なども含まれます。脳神経の働きに障害があるものすべてを精神疾患と呼びます。
- ・精神疾患が原因でひきこもりが長期化している方がいる一方で、治療により病気が回復して、作業活動や就職など、社会参加をしている方も多くいます。

特徴的な精神疾患

<統合失調症>

- ・主に青年期に発症し、幻覚（幻聴・幻視）や妄想などの症状があります。投薬で症状が改善していく方が多いです。
- ・症状により、危険であると分かっているのに場を離れられないなど、考えていることに行動が伴わないことがあります。
- ・状況、環境の変化に柔軟に対応することが苦手で、鏡子を崩す方もいます。



<うつ病>

- ・うつ状態では、気持ちが強く落ち込み、何事にもやる気が出ない、疲れやすい、考えが働かないなどの症状があります。また深刻になると、身体が思うように動かない、自分が価値のない人間のように考えてしまう、ということがあります。

必要な配慮

- ・一見して、障害者とは思えない方も多く、周囲から怠けていると誤解を受けやすいところがあります。厳しい世間の心ない言葉に傷つき、不安な思いで心を閉ざし、外出も難しくなる方がいます。
- ・障害を知られたくないと思っている人も多くいます。

【 知的障害とは 】

- ・知的障害とは、さまざまな原因による脳内の障害で、「知的機能の障害が発達期（おおむね 18 歳未満）にあらわれ、日常生活に支障があるために、何らかの支援を必要とする状態」をいいます。
- ・知的能力や適応能力（生活に必要な力）の発達は、ゆっくりですが、その人のペースで発達していきます。
- ・障害のあらわれ方は、人によって個人差が大きいです。

<生活のしづらさは、たとえば、こんなところに・・・>

知的障害のある方が困っていることは、たとえば、こんなことがあります。

- ・数を理解したり、読み入った文章や会話を理解したりすることが苦手です。
- ・自分の気持ちをうまく表現できないことがあります。
- ・うまく気持ちを落ち着けたり、気持ちを切りかえたりすることが難しいことがあります。
- ・新しいことや慣れないこと、突発的なことに臨機応変に対応することが苦手です。
- ・自分で判断したり、見通しを前もって考えたりすることが苦手なことがあります。
- ・学習に時間がかかることがあるため、できないと誤解され、チャレンジさせてもらえないことがあります。



そのため、周囲の人とうまくコミュニケーションが取れず、孤立することがあります。

また、成長の過程で、周囲の人にほめられたり、認められたりすることが少なかったり、からかわれ、怒られたという経験から自信をなくしていたりすることがあります。

家族や友人、地域の人などの理解や支援により、その人らしい生活（仕事・家庭・余暇など）を送ることができます。

いろいろな工夫をしたり、サービスを使ったりして、その人らしく、地域で生き生きと生活している方がたくさんいます！

その①

情報誌 まるっとページ発行



障害のある方も使える
福祉サービス以外の
地域活動情報を掲載しています。

*現在事業所のみ配布しています

次年度に向けて



・地域防災拠点との関わりは引き続き行います。
めざせ全拠点訪問！

・障害のある人も利用できる情報を発信していきます。

まるっとプロジェクトの主役は“みんな”であり
作り上げるのも“みんな”です！よろしくお願ひします！！